

平成26年11月4日(月)発行

道建協とうほく

No.58

発行 一般社団法人 日本道路建設業協会
東北支部 広報委員会



鳴子峡の定番アングルです。鳴子峡レストハウスから溪谷(大深沢)上流に架かる「大深沢橋」を正面に見たものです。

(宮城県鳴子峡 2014.10)

目次

I. 行事報告	1
II. 対外活動	6
III. 委員会活動	8
IV. その他の活動	13
V. 行事予定	13
VI. 会員だより	14
VII. 随想	16

1. 「道路功労者表彰（日本道路協会）」の表彰伝達式

日 時：平成26年8月27日（水）

場 所：ホテル法華クラブ仙台

公益社団法人 日本道路協会は事業の一環として、毎年8月10日「道の日」に、わが国の道路整備事業の発展にご尽力された個人、及び団体を表彰してきました。道建協関係の受賞者は「道路建設業関係会社の従業員として、多年（概ね二十年以上）にわたり業務に精励し、施工の改善・合理化、作業効率等の推進に尽力し、他の模範となる者（個人）」という事由が表彰対象となっており、道建協本部からの推薦により、主催の日本道路協会が表彰者を決定しております。受賞者への表彰は、各推薦団体が代行することになっており、東北支部においては松谷支部長、松澤幹事長が参席し、受賞者4名に表彰状の伝達を行いました。

■ 受賞者（4名・順不同・敬称略）

宇佐美 邦 夫	株式会社 NIPPO 東北支店
森 良 行	世紀東急工業 株式会社 東北支店
田 代 正 和	日建工業 株式会社
丹 弘 也	株式会社 佐藤渡辺 東北支店

■ 支部長からの祝辞（抜粋）

東北では、復興への動きが本格化しておりますが、皆様方には長年現場で培われてきた技量を十分に発揮していただき、郷土の安全・安心を守る道路づくりに貢献されるとともに、後進の育成にご尽力をお願いします。これからも健康に十分ご留意されご活躍願います。本日の受賞まことにおめでとうございます。



左から 松澤幹事長、宇佐美、森、田代、丹(代理)、松谷支部長（敬称略）

2. 総合防災訓練

東北地方整備局と合同で防災訓練を9月1日（月）に実施しました。

今回の訓練は、東日本大震災の教訓に学び、類似災害に資する訓練とし、次の5項目を重点的に実施しました。

- ①情報伝達訓練（対東北地方整備局、道建協本部及び全国10支部と情報伝達）
- ②リエゾン派遣訓練（東北地方整備局、東北6県の河川国道事務所へ派遣）
- ③緊急支援物資・機材調達訓練（仮設トイレを全国支部より調達）
- ④道路啓開チーム出動訓練（被災現場に、最寄りの工事現場又はAsプラントから
【手順確認】 啓開チームが出動（会員企業各社））
- ⑤復旧資機材情報提供訓練（As合材等供給可能資機材の情報を、東北地方整備局、東北6県の河川国道事務所に持参）

今回の訓練では、「道路啓開チーム出動訓練(手順確認)」を新たに取組みましたが会員各社のご協力によりスムーズに進めることができました。

訓練に御協力頂きました会員各位並びに河川国道事務所に足を運んで頂いたリエゾンの皆様ありがとうございました。

本部をはじめ全国の支部の協力を得ることができ、改めて全国展開する「道建協」の強さを認識しました。



【災害対策本部】



【リエゾン派遣】

3. アスファルト混合物事前審査

第71回 アスファルト混合物事前審査委員会

日時：平成26年9月18日（木）

場所：ハーネル仙台

6月に申請のあった19混合所330混合物及び骨材不足に対応するための追加申請1混合所1混合物の審査を行い、全ての混合物が認定されました。

4. 官民合同安全パトロール

日 時 : 平成26年9月30日 (火)

対象工事 : 渋民地区道路改良舗装工事
(株)NIPPPO東北支店 施工

参加者 : 【岩手河川国道事務所】

亀井副所長ほか5名

【道建協】

松谷支部長、原安全環境委員長、
田村副委員長、委員5名(秋山、佐藤、
高橋、伊藤(忠)、永澤)

改良舗装工事における事故防止について、より実践的な対策を講じることを目的に、安全環境委員会が取組んできた「官民合同安全パトロール」が、岩手河川国道事務所のご協力により実施しました。

当該工事は、国道4号渋民バイパス事業の一つで本事業は、交通混雑を緩和し、交通安全の確保を図り、暮らしの安全性向上と交通の利便性の確保を目的とした延長5.6Kmのバイパス事業で本年度内に全線供用が見込まれています。

現場代理人から工事概要説明を受けた後、現場班と書類班の2班に分かれて、点検リストに基づき実地点検しました。

その後の意見交換会では、点検結果による、問題点などの指摘や良かった点などについて、各点検者から活発な意見が出されました。

11月中には、本安全パトロールの実施結果の報告書、並びに改善・是正報告書を岩手河川国道事務所長に提出する予定です。



【事前説明】



【現場パトロール】



【書類調査】



【意見交換会】

5. 舗装施工管理技術者 技術講習会

日 時 ①平成26年10月1日(水)
②平成26年10月21日(火)

場 所 ①仙台国際センター
②いわて県民情報交流センター「アイーナ」

昨年度に続き今年度も、仙台と盛岡の2会場で開催致しました。受講者数は仙台会場で153名、盛岡会場で98名、合計251名の申し込みがあり、両会場併せて232名の方々が受講しました。

<講習科目・講師>

①舗装事業をめぐる社会・経済情勢と技術者制度

東北地方整備局 道路部 道路情報管理官 木我 茂 氏

②舗装工事の安全対策

道建協本部 環境・安全労働委員会 安全部委員 立崎 英利 氏

③建設副産物対策

道建協本部 環境・安全労働委員会 環境部委員 樋口 貞夫 氏(仙台)
〃 柴田 吉春 氏(盛岡)

④最近の舗装技術の動向

道建協本部 技術委員会 委員 二木 隆 氏(仙台)
〃 松木 重夫 氏(盛岡)



6. 「AED」を ～道の駅～ に寄贈

①10月30日（木） 道の駅「岩城」 （秋田県由利本荘市：国道7号）

②10月31日（金） 道の駅「あつみ」 （山形県鶴岡市：国道7号）

平成20年度から社会貢献活動の一環として「道の駅」にAEDを寄贈しており、昨年度までに東北6県の12駅に寄贈しましたが今年も継続して実施しました。

現地での贈呈に先立ち9月26日、清水広報委員長が東北地方整備局を訪れ、金ヶ瀬交通対策課長にAED寄贈に関する協会の社会貢献活動についてPRを行いました。

10月30日、道の駅「岩城」において、道の駅の関係者が見守る中、松澤幹事長が「このAEDが地域の防災拠点づくりに活用され、安全と安心づくりの一助になれば幸い」と金森駅長にAEDを手渡しました。金森駅長は「AEDがあればいざというときに対応できる。寄贈に感謝します」と謝辞がありました。その後、約20名の道の駅スタッフがメーカー担当者から使用方法等について学びました。

10月31日、道の駅「あつみ」では、松澤幹事長が「AEDの配備が地域の防災拠点づくりに活用され、道路利用者、地域住民に安全・安心確保の一助になれば」と山本鶴岡市副市長にAEDを手渡しました。山本副市長からは「多くのお客さまの安心につながり感謝します。大切に使用させていただきます」との謝辞がありました。その後の模擬訓練では、駅従業員からいろいろな質問が出され、担当者の説明を受けながら、本番に備え真剣に取り組んでいました。



【道の駅「岩城」贈呈式】



【道の駅「あつみ」贈呈式】



【道の駅「岩城」取扱説明】



【道の駅「あつみ」設置状況】

Ⅱ. 対 外 活 動 (H26/8/1～)

1) 東北地方整備局関係

①建設資材対策東北地方連絡会 (第2回)

日 時：平成26年8月27日 (水)

場 所：宮城自治労会館

出席者：阿部委員、事務局長

議 事： 1) 全国の主要建設資材の動向と建設資材を取巻く話題等について
2) 震災復興におけるこれまでの対策と今後の取り組み
3) 建設資材の需給 (供給) 現状・見通と課題への対応状況について
4) 対応策等に関する意見交換

②「EE東北'15」実行委員会

◇作業部会 (第1回)

日 時：平成26年10月31日 (金)

場 所：フォレスト仙台

出席者：稲辺委員、事務局長

議 事： 1) 「EE東北'14」決算報告
2) 「EE東北'15」実施方針 (案)
3) 今後の予定ほか

2) NEXCO東北支社関係

①NEXCO 工事安全協議会安全パトロール (常磐自動車道)

日 時：平成26年9月26日 (金)

場 所：仙台工事事務所管内

出席者：高橋、佐藤委員

②道建協・NEXCO 東日本意見交換会

日 時：平成26年10月27日 (月)

場 所：NEXCO 東北支社

出席者：道建協 (会員：16社・20名、事務局松原)
NEXCO (技術管理課 及び 舗装工事担当部署)

内 容： 1) 26年度発注予定工事説明
2) 入札契約現況及び入札契約方式の案内
3) 工事実施に係わる諸課題について意見交換

3) 後援行事 他

①平成26年度 東北地区 建設物価懇談会

日 時：平成26年8月27日（水）

場 所：KKRホテル仙台

主 催：一般財団法人 建設物価調査会

出席者：松澤幹事長

議 題：1) 主要建設資材の需要・価格動向
2) 公共事業労務単価について
3) 意見交換ほか

②第16回 日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム （後援）

日 時：平成26年9月1日（月）

場 所：秋田キャッスルホテル

出席者：松谷支部長

次 第：1) 意見発表 新潟・山形・青森・秋田県から各1名

2) 記念講演

「私のシンクロ人生～オリンピックが教えてくれたこと」

アーティスティックシンクロコーチ・スポーツコメンテーター 小谷実可子氏

3) 大会決議 秋田県商工会連合会 会長

Ⅲ. 委員会活動

(H26/8/1～)

1) 幹事会

【第3回】

日時：平成26年9月18日（木）

出席者：松谷支部長、松澤幹事長、幹事10名（齋藤代、石井代、原、清水、齋、杉崎、大泉、田村、皆川、大西）

議事： 1) 活動の概況（7/24～）
2) AED寄贈について
3) 安全パトロールについて
4) 道建協中期ビジョン2015について
5) 品確法第22条に基づく「運用指針」の策定に関する意見等について

2) 広報委員会

【「70周年記念誌」について打合せ】

日時：平成26年8月25日（月）

出席者：松谷支部長、松澤委員長、清水委員長、齋藤副委員長、三澤委員

議事： 1) 紙面構成について
2) 発刊に向けての工程等について

【AED寄贈整備局あいさつ】

日時：平成26年9月26日（金）

出席者：清水委員長、三澤、伊藤委員、事務局畠山

3) 技術委員会

【道路舗装の長期保証に関する整備局との打合せ】

【第1回】

日時：平成26年8月6日（水）

場所：東北地方整備局

出席者：道建協（稲辺、藤永、浅田、大山委員）
整備局（特定道路工事対策官ほか4名）

議事： 1) 道路舗装の長期保証制度の内容再確認
2) 26年度の取組スケジュールについて
3) 現地確認の予定および測定方法について
4) 26年度の路面性状調査のスケジュールについて

【第2回】

日時：平成26年9月9日（火）

場所：東北地方整備局

出席者：道建協（藤永、浅田、大山委員）
整備局（特定道路工事対策官ほか5名）

議事： 1) ROPOに関する事項について
2) 今後のスケジュールについて

【第3回】

日 時：平成26年9月25日（木）

場 所：東北地方整備局

出席者：道建協（稲辺、大山委員）

整備局（特定道路工事対策官ほか1名）

議 事： 1）調査対象個所の要因等取り纏め報告
2）長期保証の課題等取り纏め報告

【第4回】

日 時：平成26年10月14日（火）

場 所：東北地方整備局

出席者：道建協（佐藤力、稲辺、大山委員）

整備局（特定道路工事対策官ほか1名）

議 事： 1）調査対象個所の要因等取り纏め報告に関する意見
2）今後のスケジュールについて

【第5回】

日 時：平成26年10月24日（金）

場 所：道建協事務局会議室

出席者：道建協（稲辺、藤永、大山、鎌田、6社12名）

整備局（特定道路工事対策官ほか1名）

議 事： 1）道路舗装の長期保証に関する検討会

【第1回WG】

日 時：平成26年10月8日（水）

出席者：委員5名（佐藤力、稲辺、藤永、大山、鎌田委員）

議 事： 1）長期保証に関する課題等について

4）公共工事委員会

【第3回WG】

日 時：平成26年8月7日（水）

出席者：委員8名（佐藤、熊本、秋山、手塚、若狭、田澤、柴田、大山）

議 事： 1）不調対策について
2）「25年度道路舗装工事受注状況まとめ」の配布について

【第4回WG】

日 時：平成26年10月8日（水）

出席者：委員9名（佐藤、熊本、手塚、新田、若狭、田澤、鎌田、柴田、大山）

議 事： 1）工期に関するアンケート調査について
2）研究会議題について

5) 安全環境委員会

【安全パトロール】

安全環境委員会による26年度安全パトロールを9～10月に次のとおり実施しました。

(①=実施月日、②=点検員、③=対象工事・施工場所・施工会社)

(宮城B班) ①平成26年9月17日(水)

②松澤幹事長、鈴木委員、佐藤委員、事務局高橋

③志津川地区舗装工事 本吉郡 三井住建道路㈱
平井田地区道路改良工事 本吉郡 日建工業㈱



(岩手班) ①平成26年9月25日(木)～26日(金)

②大西幹事(26日)、伊藤勝委員、須藤委員、永澤委員

③田老荒谷地区改良舗装工事 宮古市 鹿島道路㈱
盛岡国道管内舗装修繕工事 花巻市 大成ロテック㈱



(山形班) ①平成26年9月29日(月)～30日(火)

②田村幹事(29日)、齋藤幹事(29日)、清水幹事(30日)
大谷委員、北原委員、加賀工事施工監査担当(NIPPO)

③刈安地区舗装工事 米沢市 大林道路㈱
水窪地区舗装工事 米沢市 ㈱佐藤渡辺
野黒沢地区改良舗装工事 尾花沢市 東亜道路工業㈱

- (宮城A班) ①平成26年10月8日(水)
 ②松谷支部長、石井幹事、高橋委員、秋山委員
 ③大塩地区改良舗装工事 東松島市 前田道路㈱



- (福島班) ①平成26年10月9日(木)～10日(金)
 ②原幹事(9日)、杉崎幹事(9日)、齋幹事(10日)
 佐々木委員、伊藤忠委員、荒瀬原委員
 ③錦佐糠地区道路改良舗装工事 いわき市 日本道路㈱
 成沢地区道路改良舗装工事 いわき市 北川ヒューテック㈱
 鏡石道路舗装工事 岩瀬郡 東京舗装工業㈱

- (宮城A班) ①平成26年10月28日(火)
 ②大泉幹事、高橋委員、秋山委員
 ③赤井地区改良舗装工事 東松島市 フジタ道路㈱



対象工事の現場代理人や現場の皆様大変お世話になりました。安全確保に務められ無事故・無災害で完工できるようお願いいたします。

幹事の皆様には、業務多忙のところ現場に立会われ、貴重な助言を頂き誠にありがとうございました。

6) 防災委員会

【第1回WG】

日 時：平成26年8月6日（水）

出席者：委員8名（高野、新田、鎌田、伊藤忠、佐々木、田澤、大山、柴田）

議 事： 1) 総合防災訓練について

【第2回】

日 時：平成26年8月25日（月）

出席者：杉崎委員長、委員15名（中上、伊藤勝、鈴木、高野、堂尻、瀬戸山、
金安、新田、鎌田、佐々木、井田、田澤、神林、大山、柴田）

議 事： 1) 総合防災訓練について

【第3回】

日 時：平成26年10月8日（水）

出席者：杉崎委員長、大泉副委員長、委員14名（中上、伊藤勝、鈴木、高野、
金安、新田、鎌田、伊藤忠、佐々木、井田、田澤、神林、大山、柴田）

議 事： 1) 総合防災訓練について

2) 今後の防災訓練の課題と方向性について

3) 東京航空局仙台空港事務所との防災協定について



（鳴子火山群の火口湖潟沼(カタヌマ) 2014.10)

IV. その他の活動

1) アスファルト混合物事前審査制度担当者会議

日 時：平成26年8月21日（木）

場 所：道建協本部

出席者：松原課長

議 事： 1) 各地区の現状と課題等
2) 最近の技術的課題

2) アスファルト混合物事前審査制度確認試験機関情報交換会

日 時：平成26年10月23日（木）～24日（金）

場 所：道建協事務局会議室及び仙台南アスコン共同企業体

出席者：稲辺委員、松原課長

議 事： 1) 25年度共通試験結果報告
2) 26年度共通試験実施要領
3) 情報交換
4) 合材工場視察

IV. 行事予定

1) 委員会活動報告会・年末懇談会

日 時：平成26年12月2日（火） 16:00～19:00

場 所：ホテルメトロポリタン仙台

2) 平成27年 安全祈願

日 時：平成27年 1月21日（火） 10:00～10:30

場 所：櫻岡大神宮

出席者：支部長、幹事長、安全環境委員会

会員だより

『日々精進』

株式会社伊藤組 本店
茂庭 実輝

私はこの春高校を卒業し、四月から伊藤組に勤めている新入社員です。

アルバイトの経験もなく世間知らずな私が真っ当に仕事を出来るか、入社式直前まで不安で胃を痛めていたものですが、職場の方々からの懇切丁寧なご指導のおかげでなんとか与えられた業務をこなせています。とは言ってもまだまだミスをしでかしがちで、ご迷惑をおかけしてばかりなのですが……日々精進したいところです。

業務もですが、私にはもうひとつ上達を目指したい件があります。それは運転技術。三月生まれの私は教習所の卒業にかなり遅れを取り、本免許を取得したのも入社前日の三月三十一日でした。そんな慌ただしさのせいか、はたまたセンスのなさか、ただ車を走らせるだけならともかく駐車が自他共に認めるドヘたくそです。ハンドルを切り過ぎたり、右と左を間違えたり……まだ事故沙汰は起こしていませんが、両親や職場の方々までもヒヤヒヤさせてしまっている現状です。

業務の上で車を出す場面もしばしば。早く周囲の方々を安心させられるほど、仕事も運転もこなせるようになりたいです。



「癒しの湯」

大林道路株式会社 東北支店
秀島 美佐

みなさん温泉はお好きですか？日本人であれば好きという方が多いと思います。

何を隠そう（隠すつもりなど初めからありませんが・・・）私もその中の1人です。と言っても、しょっちゅう出かけられるわけではありません。やはり私にとっては贅沢なことです、たまに機会があるくらいでバランスが取れていると思います。

宿泊を伴わない日帰りでも充分に楽しめるので、こちらはちょこちょこ出かけています。

先日、母が足を怪我したこともあり、治療を第一目的で行き始めました。

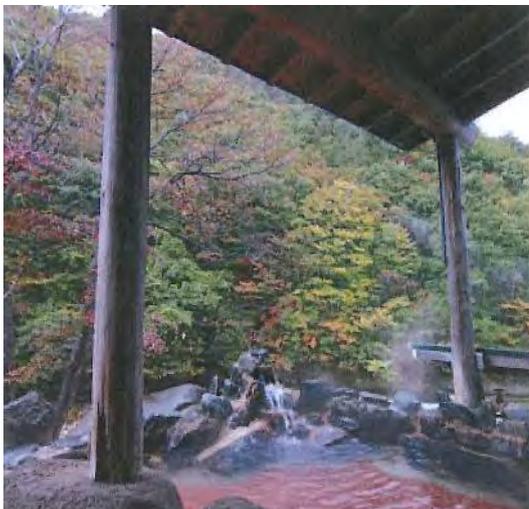
今回、初めて行ったお湯をご紹介します。「芒硝鉄泉」という宮城蔵王山麓にて地下1,028mより湧き出る含塩化土類芒硝鉄泉（がんえんかどるいぼうしょうさんてっせん）から採取した水だそうです。「奇跡の薬湯、体内外の万能薬」として過去にメディアにも取り上げられたことのある、なんともすごいお湯のようです。体内外とあげたのは飲用することで体内から病気を治すこともあり、購入する方も多いようです。

そこは建物こそ温泉旅館のように立派ではありませんが宿泊施設もあり、何度もお湯に入ることのできる吸収が大いに望めると思います。

母の足も（このお湯だけではありませんが）通っている成果が出てきていて痛みが減ってきているそうです。飲み薬のように即効性があるものではないので、焦らずに少し長い目で見て、通い続けることで成果が得られます。

私自身は怪我をした訳でもないので、癒されに出かけていますが、お肌もツルツル、疲れも取れて良いことづくめです。

出かけることで気分転換にもなりますし、もうじき紅葉も綺麗な季節になりますので、本格的に寒くなり雪が降ってしまう前に是非出かけてみてはいかがでしょうか。



随 想

「こころの旅,出羽百観音めぐり」

日建工業株式会社
代表取締役社長 大泉 敏



私儀、今般「道建協東北支部防災委員会副委員長」に就任することとなりました。微力ではございますが、誠心誠意「道建協」の発展のために努力する所存ですので、何卒ご指導ご鞭撻の程お願い致します。

私は、最上川・出羽三山などで知られる「おしん」の故郷、山形出身です。私は、還暦を過ぎてから、観音霊場を訪れる「巡礼の旅」を続けております。「三十三観音菩薩」は、人生が遭遇する苦難・災難・悩みに対して、三十三通りの姿に化身して人々を救い、すべての願いを叶えて下さるとのことです。

山形では、古くから観音信仰が人々の生活と深く結び付き、木板に願い事を書きこんだ「お札打ち」が盛んでした。母親は、嫁ぐわが娘への親心として、嫁ぎ先の「家内安全・無病息災、二世安楽等」を祈願し、笈摺（おいずり、白装束）を自分の手で縫い、嫁入り品とした習慣があります。娘は、観音霊場を巡礼して、その笈摺にご朱印を頂き、死後の旅路の身に付けるようにと教えられました。因みに私は、「最上三十三観音」十回、「庄内三十三観音」・「置賜三十三観音」各二回、合わせて十四回の巡礼をしました。

納札（巡礼十回以上金札）の後、本尊前にて合掌し、「延命十句観音経」を読経、南無阿弥陀仏を唱え、「工事安全・会社隆盛」を祈願します。そして、納められた金札のなかから、自分に最も適した金札を頂きます。私は、二百二十四回巡礼した方の「金札」を頂き、「お守り」として身に付けています。また、当社工事担当者にも、私が頂いた他の「金札」を持たせて、工事安全祈願しております。

「最上三十三観音」の札所を紹介します。

【第一番札所 若松観音 鈴立山若松寺（天台宗）聖観世音菩薩】

山形盆地のほぼ中心、温泉と将棋で有名な天童市にあり、「めでた、めでたの若松様よ」と花笠音頭で歌われる「縁結びの仏」として賑わっています。境内には、樹齢約1千年の杉の巨木があり、「鏡桜」から残雪をいただく月山の眺望は素晴らしいものがあります。

【第二十五番札所 尾花沢観音 弘誓山養泉寺（天台宗）聖観世音菩薩】

スイカ生産で有名な尾花沢市街地の北西部にある養泉寺。俳人松尾芭蕉と弟子の曾良が宿泊した寺として有名です。そのとき詠んだ「涼しさを我宿にしてねまるなり」の句碑が境内に建っています。

【第三十三番札所 庭月観音 庭月山月蔵院（天台宗）聖観世音菩薩】

「最上三十三観音」の打ち止めは、鮭川村の庭月観音。無事に巡礼結願することができたことへの感謝を込めて、入口には「おかげさまで」と書いた真紅の鳥居が建っています。

私の故郷「出羽百観音」めぐりは、単なる信仰のための巡礼というだけでなく、風光明媚な美しい風景を眺めることで気持ちが清められ安らぐこと、そして心身をリフレッシュして仕事への英気を養うという意味合いも込められています。

皆様も、歴史・文化を知る上で意義深く、更にこころに大きな実りが得られますように、穏やかな気持ちで「巡礼の旅」に出かけられてはいかがでしょうか。

「両家代表の謝辞」

日本道路株式会社 東北支店
執行役員支店長 田村 治



我が家では、昨年娘が嫁ぎ、先日、息子が嫁を貰ったことで、二人の子を持つ親として、ようやく責任を果たした安堵感に浸っているところです。

それぞれの結婚式スタイル、費用については、親としてあれこれ注文を付けたり、援助するのではなく、当人同士が出来る範囲で精一杯のおもてなしをするよう任せておりました。娘の時は、身内だけの集いで、送出す側でしたので、大泣きしないよう意地を張りました。ところが息子の結婚披露宴は、互いの勤務先の上司等、要職に就かれている方々を招待しており、受ける側としての立場の違いに少々慌ててしまいました。息子から、招待客の名簿を見せられたのが、式の数日前だったからです。

さあ、それからが大変です。謝辞についても調べて見ました。そこには、「最も重要なスピーチが父親の謝辞です」、「親としての挨拶で人生経験豊富な社会人の範を垂れる」、「宴をしめくくる大事な大切な結びの一番」、「両家代表謝辞は、両家の将来にも影響する」等、そんなに脅かさないうえよと言うような文句が羅列されていました。

「さあ大変、急いで考えなければ」とパソコンの前に座っても、そう簡単には良い文章が浮かぶ訳もなく、時間だけが無常過ぎて行きました。何とか体裁を整え、メモを手に新幹線に飛び込み、東京に向かう車中で読返すこと数回、「ダメだな」。書直そうと、娘の家で四苦八苦、完成したのが当日の朝、暗記する間もなく式場へ向かい、空では無く、「読もう」と覚悟を決め、本番に臨みました。

その時が来ました。多少の躓きはあったが、「まずまずの出来だ」と自分に言聞かせ納得する。続いて息子の挨拶、「なんと素晴らしい」、これが我子かと目を疑わんばかりの出来に感動しました。我子の成長が、嬉しくもあり寂しくもある親心に暫し浸りました。

「両家代表の謝辞」に纏わる物語が、未熟な私に良い経験を与えてくれ、まだまだ修行の足りない自分を励ましながらも、着実に世代交代が近付いているんだなど、時の流れを感じ、思い出に微笑んでいました。

息子夫婦の明るい未来への門出を祝う、笑顔溢れる良い披露宴でした。そんな充実した一日を、「あ～幸せだな」と空を見上げる今日この頃です。

編集後記

道建協とうほく No.58 担当

酒井 宏（株式会社ガイアートT・K 東北支店）

三澤 健太郎（世紀東急工業株式会社 東北支店）

「道建協とうほく No. 58」の発刊に際し、大変お忙しい中、ご寄稿いただきまして誠にありがとうございました。

9月27日11時52分、長野県と岐阜県にまたがる日本百名山の1つである御嶽山（標高3,067m）が突如噴火しました。行楽シーズンの土曜日の丁度お昼時に発生したため、56人の登山者の尊い命が奪われる大惨事になってしまいました（犠牲者数は10月16日現在）。3.11の震災以降、予測不可能な自然災害の恐ろしさ、理不尽さを目の当たりにしてきた一人として今回の噴火についても、「阿蘇山のように火口付近に噴石対策のコンクリート製シェルターを建設していたら」「火山性微動が多数観測された段階で警戒レベルを引き上げていれば」などとついつい「たられば」を考えてしまいます。

しかし自然災害に対して私たちが出来ることは、備えることだけです。数多くの活火山を抱えている東北地方でも、ハード及びソフトの両面からの対策が必要となってきます。

その中で建設業界は、防災のハード面に対する備えの中心的な役割を果たすことが期待されていると思います。地域防災の要として活躍していくためにも、日頃の安全作業、そして心身の健康を第一としてしっかりと足元を固めたうえ、着実に社会の期待に応えていきましょう



【噴火前の御嶽山】



【噴火している御嶽山】

【出典】毎日新聞 HP